



よくある質問

Q 入所式、退所式、つどいは同泊団体がいた場合一緒に行わなければならないですか？

A 入所式、退所式は団体ごとの運営でそれぞれに実施していただきます。夕べのつどい、朝のつどいは所員が運営し、その日の全ての利用団体合同で実施します。(利用の手引き P10-11)

Q ドライヤー何個ありますか。持参しても良いですか？

A 男女浴室脱衣所に各 2 台備え付けてあります。持参したドライヤーは、3 階洗面所でのみお使いいただけます。その際、同時の使用は 3 台までとしてください。(利用の手引き P15)

Q 風呂の洗い場はいくつありますか？

A 9 箇所あります。リンスインシャンプー、ボディーソープを置いてあります。(利用の手引き P15)

Q お風呂の時間はいつからいつまでですか？

A 入浴時間は 18:30～21:30 です。(利用の手引き P15)

Q タオルは干せますか？

A 宿泊室にタオルハンガーがあります。最大 12 枚干すことができます。和室には、タオルハンガーを 2 つずつ備えています。また、必要であれば、物干しロープをお貸しします。(利用の手引き P16)

Q レストランは 2 団体一緒に食事できますか？

A 最大受け入れ人数は 220 人です。(利用の手引き P3)

Q 弁当持参の場合、レストランを使って食べることは可能ですか？

A 可能です。ただし、前泊団体の昼食（レストランで食べる）が優先されます。レストランの席が足りない場合は、研修室で食べるすることができます。(利用の手引き P13)

Q 入所時刻、退所時刻が同泊する学校と同じになる場合、場所が重ならないですか？

A 利用月の部屋割担当（所員）が、どこの部屋を使用するかを調整します。前月 10 日（4、5 月利用は前月 20 日）以降に連絡をしてもらい、利用できる部屋を伝えます。事前に、団体同士で、使用する部屋の調整をしてくださっている場合は、その内容を所員にも連絡してください。(利用の手引き P6)

Q チャレンジラリー何種目までできますか？

A チャレンジラリーは全 26 種目から選択することができます。実施の際は、1 つの種目に 1 人の指導者が審判となる必要があります。また、実施場所は屋外、屋内、またはどちらでもできる種目に分かれています。団体指導者の人数、実施場所、研修生のグループ数等を考慮して、ねらいに合った種目数を計画してください。(活動プログラム資料 P20-24)

Q チャレンジラリーはどの種目が人気か。

A 集団の協調性、団結力、達成感などを求めて、「玉よりも速く」「バルーントロリー」「くじらの噴水」

などが人気です。学校側が描くねらいと参加される児童生徒の実態に応じて、適した種目を選択してください。本所ホームページから、各種目の説明動画をご覧くださいので、ご参考にしてください。（本所ホームページ「プログラム」>「屋内プログラム」）

Q チャレンジラリーは、例えば 180 人、36 グループでも実施可能ですか？

A 一度に実施する場合には、見学、応援する時間があるグループもでてくることになります。他のグループの挑戦を見て作戦を立てたり、応援して成功を共に喜んだりする姿も価値ある活動になります。また、前半・後半に分けてチャレンジラリーともう一つの活動を交互に実施することも可能です。（活動プログラム資料 P20-24）

Q チャレラリーの種目を決定したら、いつ青少年の家に伝えればよいですか？

A 利用当日までの事前に御連絡ください。

Q チャレンジラリーの説明はいつしてもらえますか？

A 当日、所員が道具を準備した後、活動前に先生方へ各種目について簡単な説明をします。その後、実際の活動では先生方から子どもたちに指導をお願いします。

Q 同日同時間に 2 校が同じプログラムをできますか？

A 活動プログラムによって可能な場合と不可能な場合があります。所員にご相談ください。

Q 宝探し（焼青ビンゴ）は 2 団体一緒に活動できますか？

A 屋外での宝探しは 3 つのエリアに分かれています。そのため、団体ごとで実施エリアを分けて実施したり、3 つ全てのエリアで広く活動したりすることが可能です。館内宝探しは、活動エリアが館内に限られます。人数にもよりますが、大人数で同時に実施するよりも、時間を分けてそれぞれに実施する方が混み合いません。（活動プログラム資料 P17-19）

Q 70 人でも所レクはできますか？

A レクに使用する道具の数が 40 人程度となっているため、70 人の対応はできかねます。

（活動プログラム資料 P43）

Q 雨天で創作活動を予定しているが、材料は買い取りになってしまいますか？

A 創作活動は、実施した場合にのみ費用が発生します。計画をしても、実施しなかった場合は、費用はかかりません。

Q 教員でも簡単にできる創作活動を教えてほしい。

A 石のデザイン、ローブストラップ、ひも人形など、本所の活動プログラムにある創作活動は、基本的には小学生でも自分で作ることができるものとなっています。本所ホームページから創作の様子がわかる動画をご覧くださいので、ご参考にしてください。（本所ホームページ「プログラム」>「屋内プログラム」）

※ 海洋活動についてのご質問については、午後の海洋活動研修会を受けてからお願いします。

Q 海洋活動を前半と後半で2校が学校ごと分かれて実施することはできますか。

A できます。ただし、両校の同意が必要です。その場合、原則艇庫での乗船前のレクチャー、下船後の振り返りは2校合同で行います。また、気象状況等により、前半のみ活動ができて、後半は中止、またはその逆になる場合も承知してください。(海洋活動(カヌー漕艇)実施の手引き P3)

Q 日帰りカヌーの午後は使用してよいか。普通の日帰りは午後使用してよいか。

A 当日の他の利用団体の有無により、午後の利用の可否を判断させていただきます。ご予約時に、所員に確認してください。(利用の手引き P 3)

Q Wi-Fi 環境はありますか？

A 2024 年 6 月現在は、Wi-Fi 環境はありません。今後、整備される予定ですが、時期は未定です。

Q 下見の日を予約したいのですが、どうすればよいですか？

A 日程の調整をしますので、本所 054-624-4675 に御連絡ください。(利用の手引き P6)
集団宿泊指導者研修会当日、直接予約される場合は、所員まで声を掛けてください。

Q つどいの役割は学校同士で調整するのですか？

A いいえ。利用月の前月 10 日以降にお電話していただき、所員からお伝えします。
(本所ホームページ「利用案内」>「利用申込手続き」)

Q 100 名規模の団体が2校重なってしまい、雨天案が困っています。どんな活動ができますか？活動する際の部屋はあるか。

A 100 名規模の2校ですと、大体育室は時間を前後半で分けてお使いいただくことをおすすめします。
大体育室を利用できない時間帯は、創作活動に取り組むか、館内宝探しを実施することができます。
また、雨天でも、雨具を着用して大漁ハイクやウォークラリーを実施することも可能です。